

システム情報工学特論

コードで学ぶAWS入門 - 第二回

真野智之 (Tomoyuki Mano)

Okinawa Institute of Science and Technology

2021/06/30 @東大工学部

講義に関連するリンクなど (再掲)

- 講義資料は
<https://tomomano.github.io/learn-aws-by-coding/>
にあります.
- ハンズオンで使用するソースコードは
<https://github.com/tomomano/learn-aws-by-coding>
にあります
- 課題やいくつかの補助スライドは
<https://github.com/tomomano/intro-aws-2021>
にあります

セットアップの確認

- 今日はハンズオンで AWS のクラウドを実際に動かしていきます。以下の準備が整っている前提で進めます。
- AWS Educate のアカウントの準備はできていますか？できていない人は [前回のスライド](#) を見て設定を完了してください。
- AWS CLI と AWS CDK のインストールは済んでいますか？済んでいない人は [講義資料 Appendix](#) を参考にインストールを済ませてください。

ハンズオン#2 について

- ハンズオン#2 では AWS 上で GPU を使用方法を解説します.
- しかしながら, AWS Educate アカウントは GPU の機能がロックされていて, ハンズオンのプログラムを実行するとエラーになります.
- **そこで, GPU を使うための専用のアカウントを各生徒に発行します. このアカウントは今日の講義の時間のみ有効です. 講義の終了後にはすみやかに削除されます.**
- もし手元でハンズオン#2を実行したい人は上記の講義専用アカウントを使用してください. 少し内容が高度でついてくるのが難しいと感じる人は, 講義で私がデモをするのを見てもらえれOKです.
- GPU を使用した計算はレポート問題には出しません.

次のスライドから, 講義専用アカウントの使い方を説明します.

講義専用アカウントの使い方 (1)

- 真野から各生徒のメールアドレス (AWS Educate に使用しているメールアドレス) にログイン情報を記述したテキストファイル (JSON ファイル) が送信されます.
- 適当なテキストエディターでこれを開くと以下のような内容が書いてあるはずです.

```
{  
  "UserName": "student-XXX",  
  "Password": "ABCDEF",  
  "AccessKeyId": "XXXXXXXXXX",  
  "SecretAccessKey": "YYYYYYYYY",  
  "Sign in link": "https://ZZZZZZZ"  
}
```

講義専用アカウントの使い方 (2)

- AWSコンソールにログインするには, "Sign in link" にアクセスし, "UserName" と "Password" を入力してください.
- AWS CLI / CDK を使うには, "AccessKeyId", "SecretAccessKey" を使用してください. この使い方は Education アカウントで設定したのと同じです. Educate アカウントとの違いは "aws_session_token" は不要な点です.

講義専用アカウントの注意点

- このアカウントは今日の講義の時間中のみ有効です。講義が終わったあとは、数時間以内に削除されることに注意してください。
- この講義のために \$200 のクレジットが付与されています。この \$200 を受講者全員で共有している状態です。(ないとは思いますが) 大量の計算を走らせるとこのクレジットが枯渇してしまいますので、講義のハンズオン以外の目的には使用しないようにしてください。